

グループ学習への PCと授業支援システムの導入

—アカデミックスキルと学習共同体
の形成をめざして—

アウトライン

■ 関西大学文学部の初年次教育

- ▶ 文学部・専門科目「知のナビゲーター」
- ▶ 教科書「知のナビゲーター」

■ PCの導入

- ▶ 作業の円滑化
- ▶ 授業外での学習継続
- ▶ 学習共同体の形成

■ 授業支援・管理システムの導入

- ▶ ウェブアプリケーション「CEAS」

クラスでの目標と課題

■ 授業での教育目標

- ▶ スキル形成、概念形成、創造的発想
- ▶ 自律的・能動的姿勢(授業内・授業外)
- ▶ 学習共同体の形成

■ 現状の課題

- ▶ 他律的・受動的姿勢
- ▶ 個別学習能力、考える力
- ▶ コミュニケーション能力

■ 解決への糸口

- ▶ 共同体での役割認識→個人の責任感、自己を客観視
- ▶ 達成感→自信、学習意欲の向上
- ▶ 授業支援システムの支援による自律的学習姿勢

知のナビゲーター

- 2004年度より
- 学習スキルの習得
- 初年次(1年次)対象
- 春学期(半期)開講
- 文学部で16クラス
- 1クラス:25名
- 演習形式

※2008年度より全学共通科目
「スタディスキルを身につける」
春30・秋10クラス開講



「知のナビゲーター」シラバス

共通シラバス

【「知のナビゲーター」の目的】〈全クラス共通〉

文学部のどの専修に進むにしても、大学生として学んでいくためには、いくつかの基礎技能を身につけておくことが必要である。この「知のナビゲーター」の目的は、特定の専修に進むために必要な知識の習得ではなく、大学生として学ぶためのスタディー・スキルの育成にある。それは具体的には次のようなものである。

- (1)資料のポイントをつかむ:文献・資料を的確に読む能力。
- (2)レジュメ・サマリーを作る:文献・資料の内容をまとめた文章を作成する能力。
- (3)レポート・論文を書く:テーマに応じて、自分自身の見解をまとめた文章を作成する能力。
- (4)プレゼンテーション:調査した内容や自己の見解を口頭で発表する能力。
- (5)ディスカッション:発表内容を的確に聞き取り、質疑、議論する能力。
- (6)モチベーションを高める:人文学の研究への動機づけやテーマ発見。
- (7)図書館・コンピュータの利用技術:その他、大学での学習に必要な技術の習得。

これらのうち、どのスキルを重点的に扱うかはクラスによって異なるので、下記の「このクラスの概要」と「講義計画」を参照すること。

【このクラスの概要】

このクラスでは、(3)レポート・論文を書く、(4)プレゼンテーション、(5)ディスカッション、(7)図書館・コンピュータの利用技術などの項目を重点的に扱う。これらを通して、大学生活を有意義に送るための知的生産のスキルを身に付けることを目標としている。

クラス独自

共通教科書「知のナビゲーター」

■ 第Ⅰ部 リテラシー

1. ノートテイキング
2. 情報を集める
3. リーディング
4. ライティング

■ 第Ⅱ部 コミュニケーション

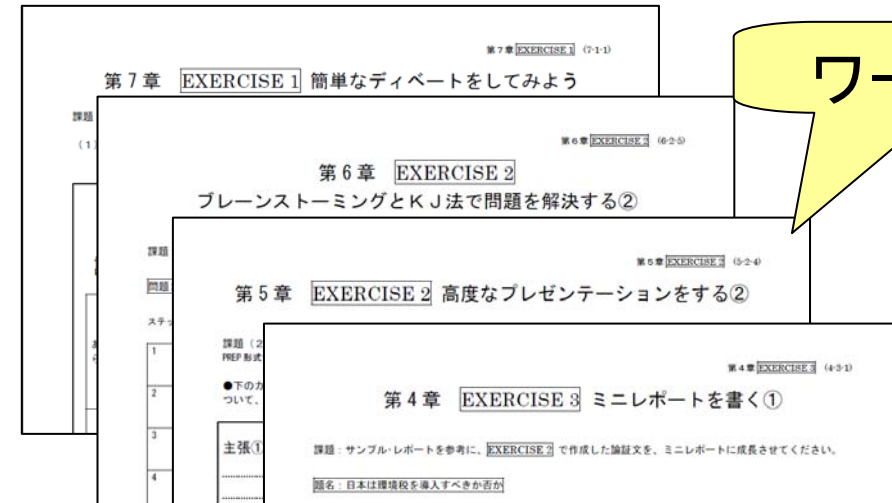
5. プレゼンテーション
6. ディスカッション
7. ディベート



スタディ・スキルが中心

教科書「知のナビゲーター」

ワークシート



サンプル
ムービー



スケジュール

回	授業内容	作業形態
1	ガイダンス、文書作成(自己紹介)	個別
2・3	プレゼンとレビュー	ペア
4・5	文書作成	個別
6・7	ディスカッション	共同
8・9	練習ディベート	共同
10	読解と要約	個別
11・12	ディスカッションとレポート作成	共同
13・14	本ディベート	クラス

PC導入の目的

- 作業の円滑化
 - ▶ ウェブによる事前調査
 - ▶ ワークシート作業
- 授業外での学習継続
 - ▶ 自宅学習
 - ▶ 授業支援システムの利用
- 学習共同体の形成
 - ▶ 情報共有
 - ▶ 情報蓄積
 - ▶ コミュニケーション



システム構成

無線LAN
アクセスポイント



情報コンセント



ノートPC

- 無線LAN通信機能
- ウェブカメラ
- ウェブブラウザとOpenOffice
- 1グループ(3~4名)に1台



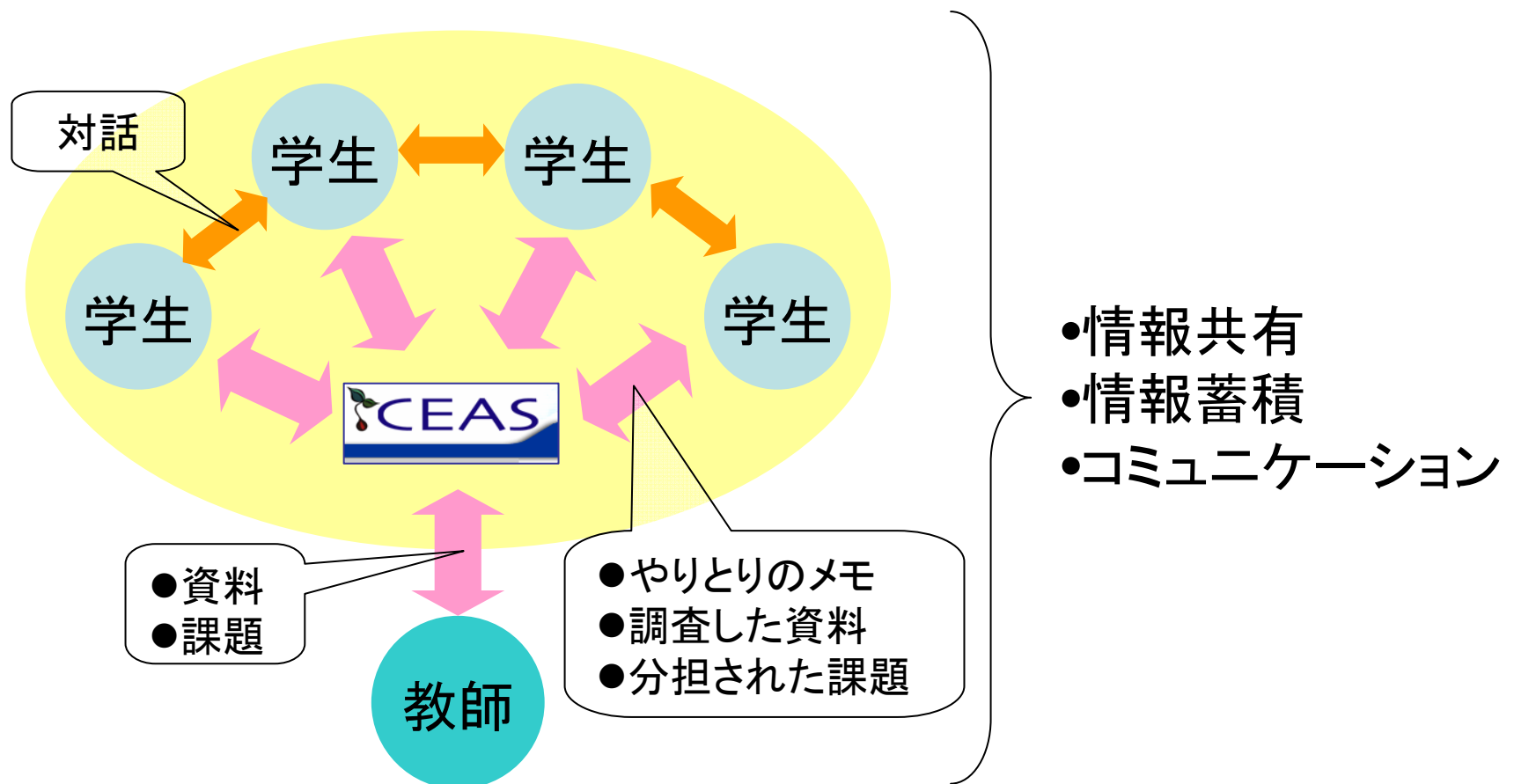
プレゼンテーションの自己評価

- ウェブカメラを利用
 - ▶ 30万画素（低画質）
 - ▶ 動画と音声を記録
 - 3分で10MBのファイル
 - ▶ その場ですぐに提出
 - ▶ 自宅で自己評価



共同学習と授業支援システムの役割

システムを核にした学習共同体



授業支援・管理システム”CEAS”

■ 授業支援機能

- ▶ 出欠管理
- ▶ 資料提示・配布
- ▶ レポート提示・回収
- ▶ テスト実施
- ▶ アンケート実施

■ コミュニケーション機能

- ▶ お知らせ・メール配信
- ▶ FAQ

■ グループワーク機能

- ▶ BBS
- ▶ チャット
- ▶ グループフォルダ



資料とレポートの提示

FAQ 出席表
BBS 出席確認
チャット グループフォルダ
科目別HPへ メニューへ戻る

資料提示

共 **レポート提示**

第1回目 (04/11)
第2回目 (04/18)
第5回目 (05/09) **資料** **アンケート**
第6回目 (05/16)
第7回目 (05/23)
第8回目 (05/30)
第9回目 (06/06)
第10回目 (06/13)
第11回目 (06/20)
第12回目 (06/27)

教材

- ・[プレゼンテーションを記録する](#)

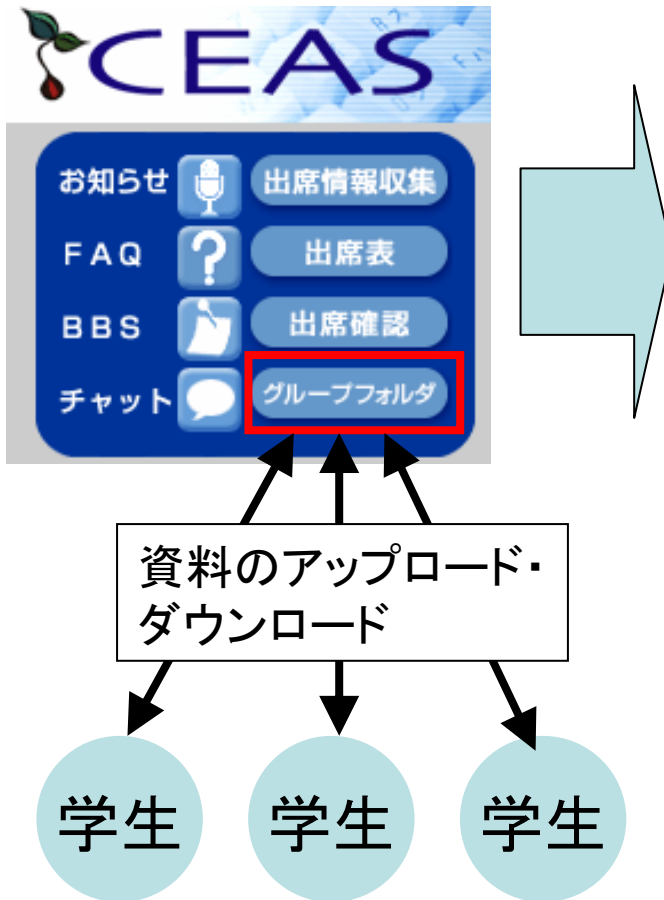
アンケート

- ・[説明のプレゼンテーション\(文08-33吾妻 大輔\)](#) (受付終了時間: ~2008/05/15 10:40:00)
- ・[説明のプレゼンテーション\(文08-197岡崎 広大\)](#) (受付終了時間: ~2008/05/15 10:40:00)
- ・[説明のプレゼンテーション\(文08-388近藤 有希\)](#) (受付終了時間: ~2008/05/15 10:40:00)
- ・[説明のプレゼンテーション\(文08-490新垣 みずき\)](#) (受付終了時間: ~2008/05/15 10:40:00)
- ・[説明のプレゼンテーション\(文08-544宅野 奈津子\)](#) (受付終了時間: ~2008/05/15 10:40:00)
- ・[説明のプレゼンテーション\(文08-691永尾 美紗子\)](#) (受付終了時間: ~2008/05/15 10:40:00)
- ・[説明のプレゼンテーション\(文08-785樋口 和美\)](#) (受付終了時間: ~2008/05/15 10:40:00)
- ・[説明のプレゼンテーション\(文08-933宮野 ともみ\)](#) (受付終了時間: ~2008/05/15 10:40:00)
- ・[説明のプレゼンテーション\(文08-975森下 茉紀\)](#) (受付終了時間: ~2008/05/15 10:40:00)
- ・[説明のプレゼンテーション\(文08-987盛谷 美文\)](#) (受付終了時間: ~2008/05/15 10:40:00)
- ・[説明のプレゼンテーション\(文08-1065吉田 杏菜\)](#) (受付終了時間: ~2008/05/15 10:40:00)
- ・[説明のプレゼンテーション\(文08-1069吉田 美穂\)](#) (受付終了時間: ~2008/05/15 10:40:00)

レポート

- ・[プレゼンテーション録画ビデオの提出](#) (受付終了時間: ~2008/05/09 23:59:00)
- ・[プレゼンテーション録画ビデオによる発表分析](#) (受付終了時間: ~2008/05/22 23:59:00)

グループフォルダの利用



登録資料						
No.	タイトル	登録者	登録日	形式	サイズ	確認
1	エビデンスカード	1211080940044文06-044藤田 仁	2006-07-01 16:57:24	doc	49152	確認する→
2	プレシート	1211080940044文06-044藤田 仁	2006-07-01 16:41:31	doc	36864	確認する→
3	藤山さんのエビデンスカードにひとつプラスしただけなんじゃけど	1211080940007文06-007藤中 佳伸	2006-07-01 17:06:14	doc	51200	確認する→
4	藤山さんのプレシートのメリットにふたつプラス(同じかも?)した	1211080940007文06-007藤中 佳伸	2006-07-01 17:08:00	doc	37888	確認する→
5	エビデンスカード藤田さんのメリットとになりそうなところを除いてプラスしてみました	1211080940007文06-007藤山 真次	2006-07-01 18:21:36	doc	53248	確認する→
6	立論ワークシート	1211080940044文06-044藤田 仁	2006-07-01 16:29:30	doc	33792	確認する→
7	プレシート藤田さんのメリット・デメリットをひとつずつプラスしました	1211080940005文06-005藤山 真次	2006-07-01 18:26:00	doc	38912	確認する→
8	プレシート藤田さんのデメリットをひとつプラスしてみました	1211080940005文06-005藤山 真次	2006-07-01 18:29:19	doc	38912	確認する→
9	エビデンスカード	1211080940005文06-005藤山 真次	2006-07-01 12:52:01	doc	50688	確認する→
10	プレシート	1211080940042文06-042藤田 真聖	2006-07-01 10:33:47	doc	37888	確認する→
11	立論ワークシート	1211080940007文06-007藤山 真次	2006-07-01 00:56:53	doc	34816	確認する→
12	藤山さんの立論ワークシートのメリットにひとつ付け足してみました	1211080940007文06-007藤中 佳伸	2006-07-02 21:49:06	doc	33792	確認する→
13	プレシート	1211080940005文06-005藤山 真次	2006-06-30 10:32:26	doc	36864	確認する→

コーディネーターとしての教員

- できるだけ話さない
 - ▶ 説明は手短かに
 - ▶ 学習内容は教科書に
- 段取りに時間をかける
 - ▶ 授業方針の明確化(設計・構造化)
 - ▶ 課題・ワークシートの作成
 - ▶ 細かくフィードバック(課題の返却)
- ときにはファシリテーターになる
 - ▶ 机間巡視

共同学習の留意点

1. 相互協力関係→グループで1つのゴール
2. 個人の責任→個別課題を与える
3. リーダーシップの分担→内容毎に役割決定
4. 相互信頼関係の醸成→頻繁に共同させる
5. 教師はグループ調整→編成配慮、机間巡視
6. 作業改善手続き→課題を与え、報告させる

共同学習による新たな認識

- 達成感
- 世界観の拡大
- 自己の客体化
- 共同体での役割認識
- コミュニケーション
- 自律的学習姿勢
- 考えることの重要性

まとめ

- PCを導入した共同学習による授業の活性化
 - ▶ CEASによる共同学習のサポート
- 今後の課題と展望
 - ▶ ワークシートのポートフォリオ化
 - ▶ リアル・コミュニケーションの円滑化
 - ▶ ファシリテーターとしてのSAを導入

Contact:

関西大学文学部 本村康哲

motomura@ipcku.kansai-u.ac.jp